

# さくら市議会だより



2010. 5. 1  
〈平成22年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6279 FAX486-2508  
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

## 2月定例会

# 平成22年度一般会計予算

## 404億9800万円

### 「子育て支援」「安全・安心」など 福祉と教育の観点から審査



5月1日に開園する『おひさま保育園』（王子台4丁目）

2月定例会は、2月22日から3月24日までの31日間にわたり開催しました。今定例会では、「平成22年度佐倉市一般会計予算」など議案40件、諮問2件が提出されましたが、議案22号、26号、27号の3件については撤回されました。

陳情については「最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情」1件、議員提出議案については「保育所にかかわる国基準の堅持および向上を求める意見書」、など7件を提出し審議しました。（議決結果は4ページ参照）

一般質問には、各会派の代表質問に7人、個人質問に12人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

### 予算審査特別委員会を設置

平成22年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の予算審査を行うため、予算審査特別委員会を設置しました。

選出した委員は次のとおりです。（◎委員長、○副委員長）

◎桐生政広 ○中村孝治 伊藤壽子 萩原陽子 上ノ山博夫  
柏木恵子 岡村芳樹 小林右治 山口文明 冨塚忠雄  
木原義春 中村克凡

### 平成22年度予算を審査

予算審査特別委員会が4日間にわたり開催され、担当部課長の説明を受け、慎重に審査を行いました。



予算審査特別委員会の審査模様



サッカー場建設予定地を現地視察(岩名運動公園)

定例会の最終日には桐生政広委員長の審査結果報告があり、次の9点を要望しました。

- ①志津霊園移転代替地の造成工事にあたっては、いささかなりとも地下水の汚染等の疑念をいだかれぬよう監視と指導に努められたい。
- ②保育園の入所待機児童の解消を図るとともに、子育て支援の環境整備に努められたい。
- ③特別養護老人ホーム入所待機者の解消を図ると共に、高齢者福祉の充実に努められたい。
- ④（仮称）佐倉西部自然公園の整備にあたっては、市民共通の貴重な財産であることを自覚され、市が責任をもって管理運営に努められたい。
- ⑤高校生の就学を支援するため、奨学資金助成制度の創設に努められたい。
- ⑥志津公民館は狭隘にして、老朽化が著しいため、早期に改築されるよう検討されたい。
- ⑦佐倉図書館の老朽化が進んでいるため、早期改築を検討されたい。
- ⑧小・中学校校舎の耐震化に努められたい。
- ⑨地下水の涵養・保身に努めながら、安価でおいしい水を飲料水として継続供給できるよう努められたい。

### 平成22年度予算の議決結果（議決 3月24日）

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数

市長提出議案	※丸数字は議案番号		
①平成22年度佐倉市一般会計予算 規模は404億9800万円であり、前年度の当初予算額に比べ9.6%の増。今般の経済状況を受けて市税や各種交付金などは減少しているものの、子ども手当などに対する国・県支出金の増、国の地方財源対策による地方交付税の増、臨時財政対策債の増により歳入全体では増加。		原案可決	○
②平成22年度佐倉市国民健康保険特別会計予算 保険給付に要する経費等、162億1386万7000円を計上。前年度比4%の増。		原案可決	○
③平成22年度佐倉市公共用地取得事業特別会計予算 土地開発基金の利子分の繰入金288万円を計上。前年度比18.9%の減。		原案可決	◎
④平成22年度佐倉市下水道事業特別会計予算 下水道の維持管理及び整備、公債費等に要する経費として25億8316万8000円を計上。前年度比5.8%の減。		原案可決	○
⑤平成22年度佐倉市老人保健特別会計予算 997万1000円を計上。前年度比72.4%の減。		原案可決	○
⑥平成22年度佐倉市農業集落排水事業特別会計予算 処理場の維持管理等に要する経費として、2451万4000円を計上。前年度比0.6%の減。		原案可決	◎
⑦平成22年度佐倉市介護保険特別会計予算 介護、地域支援サービスの給付等に要する経費として79億7847万9000円を計上。前年度比7.7%の増。		原案可決	○
⑧平成22年度佐倉市災害共済事業特別会計予算 災害共済事業給付金等に要する経費として、534万9000円を計上。前年度比0.1%の減。		原案可決	◎
⑨平成22年度佐倉市後期高齢者医療特別会計予算 千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金など、12億3823万6000円を計上。7.9%の増。		原案可決	○
⑩平成22年度佐倉市水道事業会計予算 給水収益等の収入として36億2000万円、営業費用等の支出として33億3000万円を予定。		原案可決	○

### 佐倉市議会“議会改革”について

〈議会改革特別委員会の活動報告〉

- 第10回委員会（H22. 1. 25） □第11回委員会（H22. 2. 16）  
□第12回委員会（H22. 3. 29）  
廣瀬克哉氏の議員研修会（1月13日開催）を経て、議会基本条例の具体的な策定作業に着手しました。盛り込むべき条項、更にはその制定趣旨などについて、委員のコンセンサスを図りながら、条例案の策定作業を進めています。



# 市政に関する

## 一般質問

一般質問は、市政全般にわたり議員が質問を行い、市政をより良い方向へ導くためのものです。平成21年8月定例会より、従来から行っている一括質問方式に加え、項目別質問方式を導入し、各議員の選択制としました。今定例会で行われました一般質問につきまして、その一部を掲載いたします。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（6月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム（6月配信予定）でご覧ください。

### 代表質問

#### マニフェストについて

**さくら会**  
**中村克凡**  
市長は、平成19年市長選挙において安心できる高齢化、少子化時代の福祉の充実や産業経済の活性化など4つの基本政策を柱とする市政マニフェストを作成し、市政運営に当たられておられる。マニフェストは、市民との約束であり、市民から負託を受けた市長は、その推進状況についても市民に対し説明すべきものと考

えている。市長就任以来約3年が経過した中でこの市政マニフェストに位置づけられた各種施策の進捗状況はどうなっているのか、その概要についてお聞きする。また、現在未達成となっている施策については、今後どのように進めていかれるようになっているのか、その取り扱いについてもあわせてお聞きしたい。

**答** しがらみのないクリーンな市政を目指す中で高福祉、低負担の実現といった9つの目標を達成するため、安心できる高齢化、少子化時代の福祉の充実、暮らしやすい生活環境の整備、次世代を担う青少年の育成、産業経済の活性化といった4つの柱を基本政策として現在推進している。マニフェストに位置づけられた各種項目のうち、比率にして約9割の項目で一定の取り組みが進められ、順調だと感じているが、内容を細かく見ていくと、概ね達成できたものの、順調に取り組みを進めているもの、今後さらに力を入れなければならないものなど様々である。現状を広く市民の皆様にお伝えすることでさらなるご理解とご協力をいただきながら、目標達成に向けより一層の努力を重ねたい。未実施となっているものは、残る今任期中に現状とすり合わせを行いながら諸課題解決に向け全力で取り組み、一定の方向性を出したい。

### さくら会

#### 事業仕分けはされているのか！

**村田稯史**  
は無駄の徹底的な排除の為、事業仕分けをすべきだと主張しているが、佐倉市の状況を伺う。又、外部機関から意見をいただいて精査しているが、そのご意見の内容と予算への反映はどのようになっているか。又、予算の公開説明会を実施しているが、参加者のご意見の内容と予算への反映はどのようになっているか。

**答** 公募ではない委員5名で構成される「佐倉市行政評価懇話会」から意見をいただき、それに基づいて精査をしている。具体的な事業の評価はない。予算説明会では庁用車はリースで対応すべき等の意見があったが、今回の予算には意見の反映は特

### 公明党

#### 市長の政治姿勢

**岡村芳樹**  
は、2つの大きな課題が同時進行しており、どちらか一方の解決だけでは良くない事は言うまでもありません。市長は、保育園待機児童解消に向け、新規認可保育園建設予定について王子台の次に中志津を挙げています。平成20年、地域に対し事前の相談や正式な説明が無く、突然市長から発表され不安の声が聞かれる事について、私は議会一般質問で、様々な問題があるので地元関係者の意見をよく聞き、ミスマッチとならぬよう丁寧に進めるべきと助言しました。市長は丁寧に進めるとの事でした。しかし、その後も地域に相談や正式な説明が無く、高齢者に配慮するとの発言も無い。その感覚と政治姿勢に疑問を抱かざるを得ません。丁寧に進める気持ちがあれば、その思いが言葉に出で当然です。高齢化が顕著な地域で、近隣住民を始め地域の各種団体関係者から、この事には大変危惧していると伺いました。待機児童解消に向けた施設整備はとても重要ですが、高齢者が安心・安全に暮らせる街づくりも大変に重要です。行政の責任者として、配慮した発言をして頂きたい。市長の一言はとても重いです。再度、市長の見解を伺います。

**答** 中志津一丁目の旧志津保育園跡地は、多くの待機児童がいる志津地区の状況から、従来より保育園建設予定地として考えていました。高齢化率が高い地域ですが、志津地区の課題として地域活性化の為、子育て支援策を推進していく事です。厳しい財政状況から、保育整備用地の確保が第一です。高齢化率が高い地域の特性を生かし、地域の方々の意見を丁寧に聞き、着地点を見出し保育園整備を慎重に進めたいと考えています。

### 市民ネットワーク

#### 働きかけ問題への対応について

**入江晶子**  
昨年1月、市民議による口利き等働きかけ問題が新聞報道され、議会は働きかけに関する規則の見直しを強く求める決議を採択した。①その後、規則の見直しを行ったのか。②働きかけには恫喝、威嚇、強要、要求、要請、依頼、提言等がある。新たな条例では告発等を行った場合のみ公表するとしているが、全ての働きかけを公開すべき。また、調査検討のための第三者機関が盛り込まれていない。今後、規則を含めた条例の見直しを早急に行うべきだが、どうか。

**答** ①規則は改正していない。②検討してまいりたい。

### 食育推進計画の策定について

**答** 食育推進計画の策定が進められている。地元旬の生産物で子ども達の味覚を育てるため、地域農業とどう連携していくのか、地域農業をどう活性化させるのか施策について伺う。

**答** 地産地消を積極的に進めるため、さらに、佐倉産農畜産物のPRや生産・流通・販売の整備を進めていく。また、市内における農業の課題や情報を共有するため、生産者団体などから意見を聞く場についても検討している。

### 佐倉市民オンズマン

#### 不正経理問題

**藤崎良次**  
千葉県等での不正経理があり、消耗品のコピー用紙等で多く行われている。市でも3月31日付でコピー用紙2万枚等が消耗品で購入され、予算残額が0円になっているものもあるが？  
**答** 年度末の起案、要求書受理、検査だが、問題なく適正である。  
**問** 不正が無いとの断言だが、どの書類をどう調査したのか？  
**答** 監査委員からは調査要請があった。調査の中で事実関係がないので、伝票等のチェックは、する必要がないと考えている。

### 日本共産党

#### 保育環境の整備と国の基準緩和

**萩原陽子**  
待機児童解消策として、政府は保育基準の緩和と策を打ち出した。保育園の設置基準を地方自治体の条例に任せる方向だが、市の計画への影響はどうか。また、「保育の在り方検討会」は民営化の結論に向けていないか。  
**答** 規制緩和によって保育サービスに格差が生じることは回避しなければならぬ。国と地方の役割分担から必要とされる財源が権限とともに移譲されることを期待し、地域の实情に即した改革が必要と考える。「在り方検討会」は、公立保育園等の役割を再認識し、在り方や方向性を検討するために設置している。

**佐倉学について**  
佐倉の事を学ぶ佐倉学が教育委員会の指導で進んでいる。佐倉学に出てくる人は幕末や明治初期の人が多く、時代が異なる。忠君愛国をそのまま佐倉学に持ち込むことには大きな問題がある。考慮してください。  
**答** そのように考えていきたい。

### 新社会党

#### 平和問題について

**勝田治子**  
市は平和市長会議が提唱する「都市を攻撃するなプロジェクト」により核兵器廃絶の署名活動に取組んでいる。子ども達に平和な世界を引継ぐ活動として署名と共に核兵器廃絶の運動を活性化させる事業が必要である。市長の意欲について伺う。  
**答** 平和市長会議は世界の都市と連携して核兵器廃絶に取組んでいる。私も広島・長崎に投下された都市を壊滅させて人類に悲惨な被害をもたらした核兵器は絶対に廃絶しなければならぬと強く思っている。一人でも多くの市民がこの核兵器廃絶の取組みに賛同され署名して頂けるよう情報の提供に努めてまいりたい。  
**問** 平和条例制定から15年目になる。平和事業を行う考えは。  
**答** 従来の平和事業に加え公民館を巡回して「原爆写真展」を新たに行いたい。

**問** 子ども達が平和情報を得るには映画や演劇など芸術鑑賞の機会があると効果的だが、その環境づくりについて伺う。  
**答** 広報課と連携して年間4校程度の小学校で平和に関する体験講話や映画会を実施している。

**問** 年4校では不足ではないか。学校数については検討する。

### 用語解説

※【デマンド交通システム】住民の方が希望する場所から場所までの移動を低額で提供する新しい公共交通サービス。高齢者や子ども等のいわゆる交通弱者と呼ばれる方々に対する生活交通の確保・充実策として、あるいは従来の生活交通に関する財政支出の効率化策として貢献している。



個人質問

公明党 小須田 稔

高崎川改修工事について

現在進められている高崎川改修工事で、橋木橋から上流側にかけて護岸にシートパイルを使用しているところがある。よく見ると水面から突き出た部分で腐食が進んでいる。今回の改修工事では整備が行われると思うが、JR総武本線鉄橋までの断面構造について伺う。

橋木橋から上流にかけての構造は現在進められている橋木橋下流側と同様に、右岸側はブロック積み護岸工、左岸側は現在の河道内を掘削した自然法の構造となっている。

シートパイルは改修工事に合わせて撤去する計画となっている。

中原英雄

市社会福祉協議会について

一般的社会福祉法人とどこが違うのか。法に定められた唯一の団体であり、他とは異なる。なぜ市社協だけに人件費等約1億円の補助があるのか。法と条例によって認められている。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間1時間、それ以外は30分( )内は会派名

中村 克凡 (さくら会) ※

- 1 新年度予算について 2 マニフェストについて
3 総合計画について 4 機構改革について
5 高齢者福祉施設等の現状と今後の展望について
6 農村地域の活性化対策について 7 志津霊園問題について

村田 穰史 (さくら清友会) ※

- 1 市長の政治姿勢について 2 予算について

岡村 芳樹 (公明党) ※

- 1 新年度予算編成と市長の政治姿勢 2 介護福祉施策
3 子育て支援施策
4 安心・安全に暮らせる生活環境の整備と街づくり
5 経済産業施策 6 環境・観光施策
7 芸術・文化施策

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- 1 職員に対する「働きかけ」問題と公正かつ透明な行政運営について
2 保育の民営化と公的責任について 3 平成22年度予算案について

萩原 陽子 (日本共産党)

- 1 次代を荷う子ども達を豊かに育む施策について
2 市民の健康増進と医療について 3 食育推進計画の策定について

藤崎 良次 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 新年度への取り組み、志津霊園問題、自治基本条例、不正経理問題等への市長の政治姿勢
2 人事制度等 3 教育問題

勝田 治子 (新社会党)

- 1 平和問題について 2 子どもの医療費助成拡大について
3 保育園の整備と保育サービスの充実について
4 後期高齢者医療保険の問題点について

個人質問

小須田 稔 (公明党)

- 1 安心・安全な街づくりについて 2 高齢者対策について
3 スポーツによる地域活性化について

中原 英雄

- 1 市内の社会福祉法人、医療法人が経営する福祉施設について
2 特に社会福祉協議会について 3 志津霊園区間道路の今後について
4 水道部の入札の在り方

富塚 忠雄 (新社会党)

- 1 佐倉市地域公共交通総合連携計画について
2 志津公民館の改築を総合計画策定本部会ではどのような位置づけで検討しているのか
3 志津霊園問題について

山口 文明 (さくら会)

- 1 福祉について 2 観光について
3 健康増進について

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 市民参加について 2 (仮)佐倉西部自然公園整備について
3 志津霊園区間道路開通問題について

五十嵐 智美 (市民ネットワーク)

- 1 男女平等参画の社会づくりにおける取り組みについて
2 介護保険について

森野 正 (公明党)

- 1 経常経費の削減について

兒玉 正直 (日本共産党)

- 1 市長所信表明

上ノ山 博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 まち作りについて 2 少数弱者への支援について
3 市民の健康を守ることにについて

柏木 恵子 (公明党)

- 1 地域福祉について 2 女性特有のがん検診無料クーポンについて 3 市税徴収について
4 家庭から出る不用品回収について 5 犬の登録等について

小林 右治 (さくら清友会)

- 1 市長等執行部発言について 2 子育て

工藤 啓子

- 1 佐倉市の子ども・子育て支援策について一ファミリーサポート事業の現状と保育園民営化問題
2 寺崎特定土地整理事業の事業変更に伴う課題と今後一都市マスタープランによる位置づけも含めて

◎上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

さくら会 山口文明

孤独死をどう防止するか

一人暮らしの高齢者が誰にも気づかれずに亡くなる「孤独死」について、佐倉市のこの一年の状況を伺う。また、近所同士や地域で見守る組織づくりが最も重要と考えるが、市ではどのような防止対策を講じているのか伺う。

市内でこの一年で不幸にも男性7人、女性1人の孤独死があった。近所づきあいの少ない男性の割合が多く、「地域コミュニティとの繋がりの希薄化」が大きな要因と考える。緊急通報システムや配食サービス、総合相談など細かいサービスを続け、孤独死防止に努めたい。

市民ネットワーク 伊藤壽子

代替地造成の工事内容について、市が適正と判断した根拠の資料を議員へ提出してほしい。情報開示請求、あるいは、議長からの要請で提出可能。「市政資料室で工事設計書を公開」と広報にあったが、併せて設計図も公開すべきである。議会からの要請で、調整させてもらいたい。

志津霊園区間道路開通問題について

道路開通までの費用は合わせて34億9千万円と答弁されたが、平成22年度までの人件費は含まれているのか。人件費は含まれていない。本務4名、兼務4名(3名は2月増員)、計8名体制である。

市民ネットワーク 五十嵐智美

男女平等参画社会づくりにおける市の取り組みについて 審議会、委員会の女性委員の比率は25%。公募時に女性を登用しない、全員男性の委員会がある。多様な市民意見の反映として問題。一定の割合で女性委員を登用する制度の導入を。女性委員の数値目標達成を各部署に周知する。登用率の割り当ては審議内容により有能な人材登用の阻害になり行わない。

介護保険について

地域で暮らし続けるための小規模多機能ホームの整備が進んでいない。具体的な取り組みは。他市町村の実例の研究、事業者との関係づくりなどを行う。

公明党 森野 正

経常経費の削減について 市が所有する施設全体に係る維持管理費用の総額を伺う。

人件費を含めた施設の維持管理費総額は、約55億4千万円で、一般会計の歳出総額に占める割合は約15%となる。

美術館、音楽ホールは芸術振興もあり継続したいが、このまま市が管理運営していく意義があるかについて伺う。

全国でも両施設を持つ市は多くない。市民が身近な芸術に触れる機会を設けていきたい。草ぶえの丘は、官公民かを問えば、民になじむと考える。経費削減を考え売却も検討せよ。公共的な状況で運営する。

日本共産党 兒玉正直

「無縁死」の対策は 佐倉市では、「無縁死」や行政用語で「行旅(こうりょ)死亡人」は居りますか。孤独死は8件。身元が明らかで居宅内で亡くなられたもの。行旅死亡人とは身元不明の死亡。平成21年度は3件発生し、現在まで身元の特定はできず、引き取り手もいません。行政や地域に係らない「無縁死」を心配される人のネットワークをいかに張るのか。民生委員・児童委員や地域ボランティアやNPO団体での見守りを行うなど、市民と行政の協働や住民同士の相互協力が必要であると考える。

佐倉市民オンブズマン 上ノ山博夫

白井駅のエレベーター設置の完成で、駅のバリアフリー未実施は京成佐倉駅北口のみとなる。南口にあるからという事ではなく、北口利用者の為にもエレベーターの設置が必要である。大変ご不便をかけている事は十分承知しているが、ミレセンのエレベーターを開所時間内に使っていたらいい。せめて始発から終電まで使えるよう配慮していただきたい。現状では非常に難しい。北口のバリアフリー対策を、ほかに何か考えているのか。今後の国の新たなバリアフリーの方針を注視していく。

公明党 柏木恵子

女性特有のがん検診無料クーポンについて 国はこの事業の来年度予算を半分以上とするが、不足分を市が負担し継続するの、また、早い時期の開始ができるか伺う。厳しさを増す財政状況だが、

さくら清友会 小林右治

市長等執行部発言について 市長は、志津霊園墓地代替地造成費用について、「前市長が7億3千万円を上限として費用を出す」ということを約束しておりますと答弁されていますが、本当に渡貫市長が言われたわけですか。渡貫市長がそういうことを言ったなんてことは、私は一度も申し上げておりません。子育て支援策について 乳幼児医療制度の拡大より、例えば花火とかは、予算順位が高いということですか。一事業を取り上げて、どっちが大事だというよう議論をしていたら行政は回りません。

多くの女性が検診を受けられるよう前向きに検討し、できるだけ早い実施に努力する。

未納防止のため、気軽に相談できるよう督促状への相談窓口連絡先表記ができないか伺う。限られたスペースの中だが、工夫し対応していく。

さくら清友会 小林右治

市長等執行部発言について 市長は、志津霊園墓地代替地造成費用について、「前市長が7億3千万円を上限として費用を出す」ということを約束しておりますと答弁されていますが、本当に渡貫市長が言われたわけですか。渡貫市長がそういうことを言ったなんてことは、私は一度も申し上げておりません。

子育て支援策について

乳幼児医療制度の拡大より、例えば花火とかは、予算順位が高いということですか。一事業を取り上げて、どっちが大事だというよう議論をしていたら行政は回りません。

子育て支援事業の民営化問題

他市も委託が多い。限られた人員の中で事業の優先順位を考え、委託が効率化と判断した。他市に比べ保育園運営費財源は少なく民営化で更に削減か。限られた財源の中で他の施策とのバランスもある。民営化決定前に現場の保育士や保護者に意見を聞くべき。提言後に園長を通じ、アンケートを実施予定。保護者代表からは在り方検討会で意見反映。臨時職員の解雇の問題は？ 決定後に周知期間がある。雇用継続を新規事業者を求める。



